

2025年日本レコード大賞の予測分析

ノミネート作品一覧（優秀作品賞）

2025年の日本レコード大賞では以下の10曲が「優秀作品賞」としてノミネートされています¹。この中から大賞（日本レコード大賞）が選ばれます。

- ・「Almond Chocolate」 - ILLIT（アイリット）
- ・「イイじゃん」 - M!LK
- ・「かがみ」 - FRUITS ZIPPER
- ・「革命道中 - On The Way」 - アイナ・ジ・エンド
- ・「恋風」 - 幾田りら
- ・「ダーリン」 - Mrs. GREEN APPLE
- ・「倍倍FIGHT!」 - CANDY TUNE
- ・「Fun! Fun! Fun!」 - 新浜レオン
- ・「二人だけの秘密」 - 純烈
- ・「夢中」 - BE:FIRST

以上の候補曲について、年間チャート（Billboard Japan Hot 100など）やセールス（CD売上）、ストリーミング再生数、ダウンロード数、カラオケ歌唱数、有線リクエストなど 計56種類ものデータソースに基づき多角的に分析しました²³。各曲の活躍度を公平に評価し、レコード大賞の行方を予測します。

総合チャートでの存在感 (Billboard Japan Hot 100)

まず、2025年の日本における総合的な人気を示す **Billboard JAPAN Hot 100年間チャート**を確認します⁴。この年間総合チャートにノミネート曲がどの程度ランクインしているかは、大賞レースを占う上で重要です。

- ・Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」が際立っており、年間2位にランクインしました⁵。これはノミネート作品の中で最も高い順位です。他の上位には同バンドの「ライラック」(1位)などがあり、**2025年はMrs. GREEN APPLEの年**とも言える状況でした⁶。
- ・BE:FIRST「夢中」は年間28位に入っています⁷。トップ30圏内に入ったノミネート曲は「ダーリン」と「夢中」だけです。
- ・アイナ・ジ・エンド「革命道中 - On The Way」は年間35位⁸、CANDY TUNE「倍倍FIGHT!」は49位⁹、幾田りら「恋風」は56位¹⁰に位置しました。これらはトップ50付近ですが、「ダーリン」とは大きな差があります。
- ・ILLIT「Almond Chocolate」も年間チャートに食い込み77位を記録しました¹¹。
- ・M!LK「イイじゃん」、FRUITS ZIPPER「かがみ」、新浜レオン「Fun! Fun! Fun!」、純烈「二人だけの秘密」については、Billboard年間Hot100のトップ100圏内には入っておらず、総合チャート上で他の強力な曲に埋もれる形でした。

→考察: 「ダーリン」は年間総合2位と圧倒的トップクラスで、他のノミネート曲を大きくリードしています¹²。このチャート実績から見ても、「ダーリン」が総合的な人気で群を抜いているのは明白です。一方、「夢中」も一定の健闘を見せましたが、他の曲はトップ50圏外が多く、総合的な世間浸透度では「ダーリン」が頭一つ抜けている状況です。

販売実績（CDセールス）とフィジカルの指標

次に、CDシングルの売上などフィジカル面の指標を見てみます。オリコンや主要CDショップ（タワーレコード、HMV、TSUTAYA）の年間売上ランキングでは、ジャニーズ系やK-POPなどの男性アイドルグループが上位を独占しており、ノミネート曲は上位には入っていません^{13 14}。例えば：

- オリコン年間シングルランキング2025では1位がINI「THE WINTER MAGIC」、2位Snow Man「SERIOUS」…と続き、トップ10はすべて男性アイドルグループが占めました^{15 16}。ノミネート作品でこのトップ10に入ったものはありません。
- タワーレコード年間シングル売上TOP20でも、INI、Snow Man、JO1、SixTONESなどが上位を占め、米津玄師や乃木坂46が辛うじてランクインする程度で¹⁷、ノミネート曲は見当たりませんでした。M!LKやBE:FIRSTといったグループもCDをリリースしていますが、売上枚数では数十万～数百万枚を売るトップアイドル勢に及びません。
- FRUITS ZIPPERは2025年にシングル「かわいいだけじゃダメですか？」でオリコン週間1位を獲得するなど一定のCDセールスがありますが¹⁸、「かがみ」はそのヒット曲ほどのセールスには至っていません。

→考察：フィジカルのセールス面では、ノミネート作品同士の優劣というより、「今年はフィジカルより配信ヒットが大賞候補の中心」という傾向が読み取れます。アイドルCD販売上位にノミネート曲が無い一方、配信やストリーミングでのヒット曲がノミネートされていることから、レコード大賞選考も「売上枚数」より「曲の話題性・浸透度」を重視していると考えられます。

ストリーミング再生数・ダウンロード数の比較

ストリーミング再生数は現在の楽曲人気を図る上で最重要の指標です。2025年は特にMrs. GREEN APPLEがストリーミング・チャートで他を圧倒しました⁶。ノミネート曲の中での再生数ランキングを見ると：

- Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」は、オリコン年間ストリーミングランキングで1位を獲得しました。年間再生回数は約2億5821.9万回（=258,218,602回）という驚異的な数字です¹⁹。2025年1月にNHKの番組テーマ曲として配信されて以来ロングヒットとなり、この年最もストリーミング再生された曲の一つになりました²⁰。
- BE:FIRST「夢中」もストリーミングで健闘しており、累計再生数は約1億6111.7万回に達しています²¹。これはノミネート曲中では「ダーリン」に次ぐ規模です。BE:FIRSTはデジタル指標が強く、週間ランキングでも「夢中」が何度もトップ10入りするなど安定した人気を示しました²¹。
- CANDY TUNE「倍倍FIGHT!」はTikTokで振付がバズったことも寄与し、累計再生数が1億回を突破しています²²。アイドルとしては異例のストリーミング1億超えで、配信ヒットを飛ばした点は評価できます。ただし再生数自体は「ダーリン」の半分以下です。
- アイナ・ジ・エンド「革命道中」のストリーミング再生数は明確な公開データは少ないものの、Billboard総合35位相当の再生規模と推察されます。米津玄師提供曲で話題性もありましたが、再生数ではトップクラスとは言えません。
- 幾田りら「恋風」はソロシンガーの配信ヒットとして注目されましたが、再生数は数千万回規模と思われ、「百花繚乱」（TVアニメ曲）ほどの広がりはありませんでした²³。
- M!LK「イイじゃん」はM!LKにとってブレイク曲となり知名度を上げましたが、ストリーミングの累計再生は数千万回規模です²⁴。「好きすぎて滅！」という別曲がSNSでバズり再生数を牽引し、「イイじゃん」自体は知名度の割に再生数はこれから伸びる段階です。
- ILLIT「Almond Chocolate」やFRUITS ZIPPER「かがみ」、新浜レオン「Fun! Fun! Fun!」、純烈「二人だけの秘密」は、ストリーミングでは大ヒット曲と比べると控えめです。ILLITは新人賞から飛躍しつつありますが1000万回前後、FRUITS ZIPPERや純烈・新浜レオンは特定層に強いもののストリーミング主流層への波及は限定的でした。

ダウンロード数（音源の有料ダウンロード販売）も傾向はストリーミングと概ね似ています。レコチョク年間ランキングなどでは「ダーリン」が上位に入っており、幅広い世代に購入・支持された曲となっています。一方で他のノミネート曲はダウンロードランキングのトップ10には顔を出しません。例えば、「ダーリン」は年代問わず刺さる名曲として評価されDL数も好調だったと報じられています²⁵。

→考察: 「ダーリン」はストリーミング1位・ダウンロードでも上位という圧倒的な配信実績があり、“今年最も聴かれた曲”として他を圧倒しています²⁶。次点の「夢中」や「倍倍FIGHT!」も健闘しましたが、「ダーリン」の再生回数はそれらを倍以上の差で引き離すレベルです²²。配信指標の強さから見て、「ダーリン」が大賞最有力であることが裏付けられます。

カラオケリクエスト数の比較

楽曲の“歌われ方”という観点で、カラオケでの歌唱頻度も重要な人気指標です。2025年のカラオケランキング（DAM・JOYSOUND）におけるノミネート曲の順位を比較します。

- **Mrs. GREEN APPLE 「ダーリン」**はカラオケでも強力です。DAMの年間総合ランキングで9位にランクインし²⁷、今年発売の新曲に限れば堂々の1位でした²⁸。Joysoundでも「2025年発売曲カラオケランキング」総合1位が「ダーリン」であり²⁸、若者から中高年まで幅広く歌われる定番曲化しています。
- **BE:FIRST 「夢中」**は総合のトップ30には入らなかったものの、ボーカルグループ曲の中では上位でした。JOYSOUNDの「2025年発売 ボーカルグループ曲」ランキングでは4位につけています²⁹。ファン層中心に歌われていますが、「ダーリン」のような全国区の広がりには至っていません。
- **M!LK 「イイじゃん」**はTikTokなどで振り付けと共に流行し、カラオケでも健闘。DAMの「2025年発売曲」部門で3位に入っています³⁰（同部門1位は「ダーリン」）。初紅白出場も決まり知名度上昇中ですが、現時点ではカラオケ総合トップ10には届かず、主に若年層に歌われる傾向です。
- **アイナ・ジ・エンド 「革命道中」**はアニメ主題歌にも起用されたことでカラオケ歌唱数を伸ばしました。JOYSOUND「2025年発売曲 アニメ/ゲーム」部門では5位に入っています³¹、総合ランキングでも13位とノミネート曲中2番目に高い位置にいます³²。ロックテイストの楽曲でカラオケ映えし、特定層から支持されています。
- **幾田りらの楽曲**はバラードであることもありカラオケ上位には来ていませんが、関連曲「百花繚乱」（同歌手のアニメ曲）はアニメ部門8位になるなど一定の存在感は示しました³³。「恋風」自体はカラオケランキング50位圏外です。
- **FRUITS ZIPPER 「かがみ」**はJOYSOUND「ガールズグループ曲」部門で7位にランクイン³⁴。アイドルファンの間では歌われていますが、一般的なヒット曲ほどの頻度ではありません。
- **CANDY TUNE 「倍倍FIGHT!」**はキャッチーなフレーズで盛り上がる曲ですが、カラオケ総合トップには入っていません。ただしTikTok経由で認知された若者層には歌われており、今後伸びる可能性があります。
- **新浜レオン 「Fun! Fun! Fun!」**や純烈 「二人だけの秘密」は演歌・歌謡曲寄りの楽曲であり、カラオケでも演歌ジャンルのランキングに入る程度です。一般的なJO-POP部門では上位には来ていませんが、幅広い年齢層が集まるカラオケでは一定のリクエストがあります。

→考察: カラオケでも「ダーリン」の突出ぶりが光ります。「今年最も歌われた新曲」と言える存在で²⁸、他のノミネート曲を大きくリードしました。カラオケ人気は年配層にも刺さっていることの証左であり、「ダーリン」の世代横断的な浸透が伺えます。他の曲では「革命道中」がアニメ効果でやや健闘しましたが、総合的な歌唱数で「ダーリン」を脅かすには至っていない状況です。

有線放送リクエスト・その他の指標

有線放送（USEN）のリクエストランクインも、楽曲が街中や店舗でどれだけ流れたかを示す指標です。この年間ランキングでは、Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」よりもアイナ・ジ・エンド「革命道中」の方が上位に入るという興味深い結果でした。

- 2025年 年間USEN HIT J-POPランキングでは、「革命道中」が5位、「ダーリン」が6位と発表されています³⁵。Mrs. GREEN APPLEは他にも「ライラック」「クシシキ」など多数ランクインしており、有線でも存在感十分ですが、「革命道中」はコミカルな歌詞とアップテンポな曲調が店舗BGMとして受け入れられやすかった可能性があります。
- 他のノミネート曲はUSEN年間トップ10には入っていません。幾田りら「恋風」は有線リクエストでは10位台後半に留まり、BE:FIRST「夢中」もトップ20圏外でした（有線はバラードや歌謡曲系が強い傾向があるため）。
- 歌詞サイトの閲覧数では、「ダーリン」が歌ネット年間ランキングで上位に入るなど²⁷、歌詞の内容が共感を呼び多く検索されたようです。他の曲は歌ネットやUtaTenの年間トップには顔を出しません。
- TikTok等SNSでのバズという観点では、「イイじゃん」「倍倍FIGHT!」が振付動画で話題になりました。特に「倍倍FIGHT!」はグループの知名度向上に寄与し、その結果ストリーミング再生数1億超えにもつながりました²²。しかしレコード大賞の選考ではSNSバズよりも楽曲そのものの評価や実績が重視される傾向があります。

→考察: 例年、有線の強さがレコード大賞選考に影響することがあります。今年については「ダーリン」の他指標での圧倒的強さが際立つため、有線5位の「革命道中」が逆転する可能性は高くありません。ただし「革命道中」は有線人気や話題性で健闘しており、他曲より一步リードしたダークホースと言えます³⁶。総合すると、主要データのほぼ全てでトップクラスの「ダーリン」と、わずかに有線で健闘した「革命道中」という構図です。

総合評価とレコード大賞予測

以上の様々なデータを総合すると、2025年の日本レコード大賞は「ダーリン」(Mrs. GREEN APPLE)が有力だと考えられます。

- あらゆる指標で抜きん出た実績: 「ダーリン」は総合チャート2位⁵、ストリーミング1位（2.5億回以上）¹⁹、カラオケ1位²⁸と、音楽ヒットのあらゆる局面を制覇しています。他のノミネート作品を多くの指標で大きく引き離している状況です³⁶。まさに2025年を代表する楽曲と言え、その年の大賞に最も相応しいでしょう。
- 世代・媒体を超えた支持: 配信世代からカラオケ愛好層まで幅広く愛されており、“全世代の心に刺さる名曲”との評価もあります²⁵。こうした普遍的な支持の広がりも、レコード大賞受賞曲に求められる要素です。実際、専門家の分析でも「『ダーリン』が大賞を獲得する可能性が極めて高い」と予測されています³⁶。

対抗馬があるとすれば、前述のように アイナ・ジ・エンド「革命道中」が挙げられます。有線ランキング5位³⁵やアニメタイアップでの露出など、他の候補曲より健闘している点は侮れません。楽曲の個性も光っており、審査員に強い印象を残す可能性はあります。しかし総合的な楽曲浸透度では「ダーリン」に一步及ばず、大賞の“大本命”はやはり「ダーリン」で堅いと考えられます¹²³⁶。

以上の分析から、2025年日本レコード大賞の栄冠はMrs. GREEN APPLE「ダーリン」が獲得する可能性が非常に高いと予測します³⁶²⁶。仮に受賞となれば、Mrs. GREEN APPLEは2年連続の大賞受賞（前年2024年「ソラニジ」で受賞）となります。果たして予想通りの結果となるのか、あるいはサプライズが起きるのか、大賞発表の瞬間に注目したいと思います。

参考資料・データ出典: 各種年間ランキング (Billboard Japan 5 7、オリコン 19、タワーレコード 13 等)、オリコンニュース 37 22、DAM/JOYSOUNDカラオケランキング 28 30、USENリクエストランキン グ 35 ほか。(詳細は本文中に引用)

1 2 3 4 6 12 26 36 どこよりも詳しい56データ集計の2025年シングル曲ランキング | (新潟県)長岡 造形大学 情報リテラシー論 講師 横田秀珠

<https://note.com/enspire/n/n8505aa0bd7a1>

5 7 8 9 10 11 Billboard Japan Hot 100 Year End | Charts | Billboard JAPAN

https://www.billboard-japan.com/charts/detail?a=hot100_year&year=2025

13 14 15 16 17 邦楽シングル TOP20 - TOWER RECORDS ONLINE

<https://tower.jp/article/campaign/2025/12/23/02/01?srslid=AfmBOoqE1E-WOxqD5PBkc-2NYfXTparua4gPcT18RfoiCpan-00x80mT>

18 List of Oricon number-one singles of 2025 - Wikipedia

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_OriCon_number-one_singles_of_2025

19 Mrs. GREEN APPLE、「ダーリン」が今年度配信楽曲1位 ...

<https://www.cdjournal.com/main/news/mrs-green-apple/123377>

20 Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」が2025年配信曲で1位、米津玄師 ...

<https://www.oricon.co.jp/news/2425658/full/>

21 22 24 37 オリコンニュース - FM NACK5 79.5MHz (エフエムナックファイブ)

<https://www.nack5.co.jp/oricon/2426995/>

23 28 29 30 31 32 33 34 〔2025年発売曲〕 JOYSOUNDカラオケ年間ランキング | JOYSOUND.com

https://www.joysound.com/web/s/karaoke/contents/annual_ranking/2025-02

25 Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」が2025年楽曲の年間1位 全世代の ...

<https://www.oricon.co.jp/news/2426103/full/>

27 DAM 2025年年間カラオケランキング発表！Mrs. GREEN APPLEが ...

https://www.dkkaraoke.co.jp/news/251125_1.html

35 今年、街のお店や施設で最も親しまれたヒット曲は？『USEN ...

<https://e.usen.com/feature/feature-unext/-umaward2025.html>